



HERO になろう
~BE A HERO~



「学校教育アンケート」結果のご報告

日ごろより本校の教育活動に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度は、多くの行事において、コロナ禍以前のように保護者の参加人数の制限をなくして実施することができました。これもひとえに保護者の皆様のご理解とご協力のおかげと、教職員一同感謝申し上げます。子どもたちは、様々な経験と学習を通して、一人ひとりが大きく成長してくれたと思います。今後も子どもたちにとってよりよい学校になるよう、様々な取組みを検討してまいります。

さて、12月に実施した学校教育アンケートにつきましては、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。この学校教育アンケートは、本校の教育活動に対して、児童や保護者の皆様がどのように思い、どのようなご意見をお持ちなのかを把握し、今後の学校運営の参考にさせていただくために実施しております。このたび、集約・分析ができましたのでご報告いたします。



【児童アンケートから】 ※別紙グラフ参照

<学校・授業について>

- ◆「学校へ行くのが楽しい」「学校行事は楽しい」について、肯定的に答えた児童はそれぞれ75%、89%となりました。数的には昨年度よりやや下がりましたが、これは、学校全体で児童主体の行事が増え、児童一人ひとりがやりがいや楽しさを実感した半面、友だちとの意見の食い違いやトラブルなども経験し、子ども同士が関わる機会が多くなったということの表れでもあると考えます。縦割り清掃やペア学年での交流など、学年の枠を超えた子ども同士の繋がりの中で、児童一人ひとりが「誰かの役に立っている」と思える自己有用感や「今の自分で良いのだ」と思える自己肯定感を持ちながら、それぞれ活躍できる場があり、「楽しい」と実感できる学校づくりを目指し、学校行事の工夫に努めてまいります。
- ◆「授業はわかりやすい」「授業で、自分で考えたり話し合ったりすることがある」について、肯定的に答えた児童はそれぞれ87%、90%ほどとなりました。また、「授業で本やタブレットを使って学習することがある」と答えた児童は96%となりました。子どもたちにとって、授業の中でタブレットを使用することが日常的になりつつありますが、操作や入力などにまだ慣れず、困り感を持つ児童もいるのが現状です。今後は、状況に合わせた活用方法や情報の取捨選択の方法、また児童一人ひとりが学びを実感できる活用方法等、児童の情報活用能力の育成に取り組み、視覚支援の充実を図りながら、すべての児童にとってわかりやすい授業づくりに取り組んでまいります。

<先生との関係>

- ◆「先生は、がんばったことをほめてくれる」「困っていることについて話を聞いてくれる先生がいる」について、肯定的に答えた児童は80%前後となりました。「とてもそう思う」の割合が昨年度よりやや下がりました。日々の学校生活の中で、より一人ひとりの児童の頑張りを認め励ませるよう取り組んでまいります。今年度11月から、タブレット端末のアプリ「デイケン」を活用した健康観察を毎朝実施しています。児童の健康状態や教員への相談の有無など、これまで以上に児童から発信しやすくなりました。また、担任だけでなく、管理職や養護教諭、生徒指導担当者を中心に、より多くの教職員が一人ひとりの児童の変化にいち早く気付くことができます。今後さらに、児童が困ったときにすぐに誰にでも相談できるように努め、すべての児童が安心して生き生きとした学校生活を送れるよう、全教職員で子どもたちの心に寄りそった指導に努めてまいります。

＜命や友だちへの思いやりの学習＞

- ◆「命の大切さや友達への思いやりについて学習することがある」と答えた児童は94%でした。昨年度と同様、全学年で取り組んでいる「いじめ予防授業」や「人間関係づくり」「支援理解教育」の継続、いじめの未然防止や早期発見のためのアンケートと児童への個別の聞き取りを毎学期実施しています。さらに、昨年度からはLGBTQなどの多様性についての教育にも取り組んでいます。今後も、人権教育を大切に、すべての児童が、いじめを「他人事」ではなく「自分事」として考え、自分も他者も大切にできるような集団づくりや授業づくりに学校全体で取り組んでまいります。
- ◆「地震や火事などがおこったとき、どうしたらよいかわかっている」と答えた児童は95%でした。今年度も、計画していた訓練をすべて実施することができました。どの訓練においても、すべての児童が「いざという時に」落ち着いて行動できるよう考えながら真剣に取り組んでいます。また、保護者の方への「引き渡し訓練」も昨年度同様1学期に実施し、多数の保護者の皆様にご参加いただきました。年度の早い時期に訓練を実施することができ、万が一の時に備える体制を確認することができました。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。今後も、全職員が常に危機意識を持ち、保護者の皆様や地域の方々と連携しながら、児童が安心して学校生活を送れるよう努めてまいります。

【保護者アンケートから】 ※別紙グラフ参照

＜説明責任に関すること＞

- ◆「教育方針・教育活動・連絡事項のお伝え」「参観日や公開日など授業や子どものようすを知る機会」「地震や台風への対応についての周知」「個人情報の遵守」について、85～99%の肯定的なご意見をいただきました。特に「授業や子どものようすを知る機会」について、肯定的なご意見を多数いただきました。参観や行事については、可能な限り多くの保護者の皆様にご参加いただけるよう工夫をしております。スペースや時間的な問題で、ご不便をお掛けした面もあるとは思いますが、PTA 役員の皆様のお手伝いや保護者の皆様のご理解ご協力のおかげで実施することができました。引き続き、ホームページの充実やさくら連絡網を活用した手紙の配信等、児童の様子や教育活動についての情報発信を丁寧に行ってまいります。
- ◆「あゆみについて」肯定的な意見は81%となりました。今年度より吹田市内のネットワークの変更に伴い、「あゆみ」の仕様が変更になりました。評価の観点や内容については、学年だよりや懇談会での説明などを通して、今後も丁寧にお伝えしていきます。また、児童一人ひとりの日頃のがんばりについては、個人懇談等でしっかりとお伝えしていけるよう努めてまいります。

＜教育内容・指導内容に関すること＞

- ◆「生命や人権を守る」「決まりを守る」態度の育成、「いじめのない学校づくり」については、86～91%の肯定的なご意見をいただきました。いずれも昨年度より微減となりました。コロナ禍が落ち着き、子ども同士が関わる行事なども増え、トラブルなども増えた結果と考えています。子どもたちは、日々の学校生活の中で、様々な人間関係を学んでいきます。今後さらに、学校での取組みを分かりやすくお伝えし、保護者の皆様のご協力をより一層いただき、児童一人ひとりの人権意識や規範意識、他者尊重の心を育ててまいりたいと思います。
- ◆「学校は楽しいと言っている」「児童会行事・学校行事は意欲的に参加できている」「授業が楽しく分かりやすい」については多数の保護者の方に肯定的なご意見をいただきました。特に、学校行事への参加については98%以上の肯定的なご意見をいただきました。子どもたちが意欲的に学校行事に取り組む姿を保護者の皆様にご覧いただく機会が増え、ご家庭でも学校のことを話題にいただいている結果と考えます。今後も一人ひとりの児童が学びを実感できる学校行事の充実や楽しく分かりやすい授業の実施に努めてまいります。

＜教職員と児童・保護者との関わりについて＞

- ◆「教職員は子どもをよく理解している」「家庭と連携し子どものことについての相談に応じている」については、86%以上の肯定的なご意見をいただきました。昨年1月より電話対応の時間が制限されるなど、保護者

の皆様にはご不便もお掛けしていますが、何卒ご理解ください。今後はさくら連絡網の活用を充実させ、更に保護者の皆様との連携をしっかりとっていきたいと考えています。更に、児童理解研修等の教職員研修を充実させ、全教職員が子ども一人ひとりに寄り添い、しっかりと向き合っていけるよう努めてまいります。

【保護者の方のご意見から】



※自由記述でいただきましたご意見の中から、抜粋して紹介させていただきます。

・家でのタブレット使い方について、時間の制限をして欲しい、タブレットを使用してどのような学習をしているのか知りたい

→タブレットに関するご意見を多数いただき、2学期終業式では全校児童でタブレットの使い方について確認いたしました。学校から貸与しているタブレットは学習に関する場合に使用できます。よって、家庭学習等、家での使用時間の制限を学校で決めることは難しいです。タブレットをはじめとした情報機器とどう付き合い上手く使っていかを考える力は、これからの時代を生きる子どもたちにとってなくてはならないものです。子どもたちが自ら考え行動し、情報活用能力を向上させていくために、学校と家庭が連携し子どもたちを見守り育てていくことが大切です。ご家庭でタブレットを使用する時の約束事やルールづくり等、子どもたちと一緒に取り組んでいただくと幸いです。学校においても、さらに充実したデジタルシティズンシップ教育を進めていけるよう授業の工夫に取り組んでまいります。

・手話の意味や動きがわかるようなアプリや動画をタブレットに入れて欲しい

→児童のタブレットに「手話辞典」というアプリが入っています。画面上にアプリがない場合は、「Self Service」のアイコンから入ると「手話辞典」のアプリのダウンロードが可能です。このアプリでは、様々なカテゴリーに分類された単語の手話の動きを覚えたり、ゲーム感覚で手話に親しんだりできる工夫がされています。

・学校だよりや学年だよりをもう少し早く配布して欲しい

→学校行事の確定などの関係で、各お便りについては月末頃の配布になりご迷惑をお掛けし申し訳ございません。学校行事については、翌月の主な行事を掲載しています。(例) 1月号⇒1月行事&2月の主な行事特に、児童の下校時刻に関する行事は、決定しているものについては掲載していますので、そちらをご覧ください。また、ご不明な点があれば、いつでも学校にお問い合わせください。

・欠席連絡・持ち物や課題の確認を電話でもしても良いのか

→欠席連絡については、多くの保護者の皆様にはさくら連絡網をご活用いただくことで、朝の出欠確認がスムーズになり、大変助かっています。また、学校や担任へのご連絡についても、さくら連絡網の「学校への連絡」をご活用いただきありがとうございます。担任からの連絡については、授業や会議等のタイミングにより、時間差ができてしまう場合がございますがご了承ください。また、個別に電話でお話しさせていただくことももちろん可能です。「折り返し電話をして欲しい」「伝えたいことがある」等のメッセージを送っていただくとありがたいです。とはいえ、まだまだ課題・改善点があるのが現状です。メッセージを送ったにも関わらず学校から数日たって連絡がない場合は不具合が生じている可能性があります。その際は、お手数ですが確認のため、学校までお電話にてご連絡くださいますようお願いいたします。

・行事の対象学年保護者優先席・写真撮影について

→昨年度の運動会の「対象学年保護者優先席」に引き続き、今年度は音楽会でも「対象学年保護者優先席」を設け、さらに、写真等の撮影についても行っていただけるように変更しました。当日は、大きな混乱もなく、保護者の皆様同士で譲り合ってお観覧いただきありがとうございました。また、撮影された写真や動画の取り扱いについても、今のところSNS等への投稿は確認されておりません。アンケートでも、当日ご観覧いただけなかったご家族に、お子様の姿を見ることができ良かったというお声をいただきました。今後も、皆さんが気持ちよく観覧できるよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。